

ジェネリック医薬品を使用してみませんか

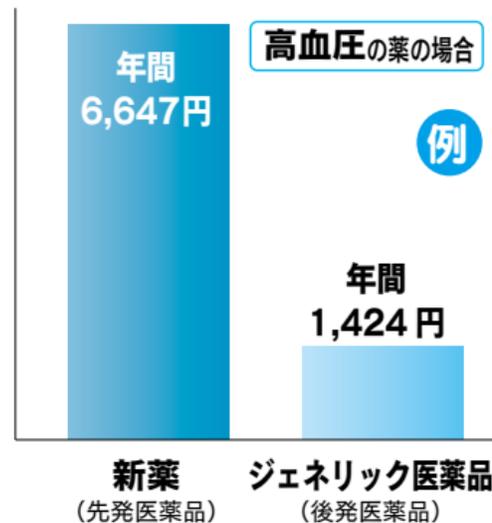
ジェネリック医薬品（後発医薬品）は、新薬（先発医薬品）に比べて開発費用が少額のため、価格が3割から5割安く設定されています。

ジェネリック医薬品に切り替えると、自己負担額が少額になるため家計の負担が軽減され、特に高血圧やアレルギー性疾患等の治療中の方は薬剤費を大幅に節約できます。

国は医薬品にかかる国民負担の軽減に向けて、2020年9月末までにジェネリック医薬品の使用割合を80%にするという目標を掲げています。当組合全体の平成30年3月診療分の使用割合は約74%となっており、目標達成に向けさらに積極的な使用が必要となっています。

当組合では、今年度もジェネリック医薬品差額通知を実施します。この通知は、現在服用中の新薬をジェネリック医薬品に切り替えることで一定額以上の薬剤費の軽減が見込まれる方に対しお知らせするもので10月に送付する予定です。

ジェネリック医薬品に切替えた場合の自己負担額の比較



ジェネリック医薬品の処方を希望される方は、医師・薬剤師に相談のうえ、ご使用くださいますようお願いいたします。